



# 国際交流ひろば

# 9

月号

## KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION NEWS

VOL. 248/ September 2021

### 在住外国人のための防災対応支援事業

**災害発生!** あなたの隣の外国人どう支援する?

地域の災害や災害時の外国人へのサポートの手法, 多文化共生について理解を深める講座を開催します



in  
さつ  
ま  
町

#### 全4回連続講座

対 象: 在住外国人, 外国人支援に関心のある日本人 (さつま町およびその周辺市町村にお住まいの方)

場 所: さつま町虎居地区公民館 他

備 考: 日本人の方は①・③・④, 外国人の方は②・④の講座を受講していただきます

①基礎講座

9月12日(日)  
14:00~16:00

(※日本人向け講座)

②基礎講座

9月26日(日)  
13:30~16:00

(※外国人向け講座)

③やさしい日本語

10月17日(日)  
13:30~16:30

(※日本人向け講座)

④実践チャレンジ!

10月31日(日)  
13:30~16:00

(※日本人及び外国人向け講座)

内容の詳細等は, さつま町 HP(<https://www.satsuma-net.jp/kikaku/kurashi/bousai.html>)をご覧ください

講座の申込みは さつま町役場企画政策課まで  
TEL:0996-53-1111 Email: [ki-kikaku@satsuma-net.jp](mailto:ki-kikaku@satsuma-net.jp)

その他お問合せは (公財)鹿児島県国際交流協会まで  
TEL:099-221-6620 Email: [kia8@kiaweb.or.jp](mailto:kia8@kiaweb.or.jp)



## マレーシア

マレーシア出身の講師がマレーシアの文化や生活, 多民族国家について紹介します  
「日本人の住みたい国 No.1」にも選ばれるマレーシアの魅力に迫ります!

9月18日(土) 14:00~15:30

会 場: かがしま県民交流センター東棟4階 大研修室3

定 員: 30名(先着順・要予約・小学生以上) 参加費無料!

お問合せについては (公財)鹿児島県国際交流協会まで  
TEL:099-221-6620 Email: [kia6@kiaweb.or.jp](mailto:kia6@kiaweb.or.jp)

文化紹介講座

※上記両講座は, 新型コロナウイルス感染症の影響によりやむを得ず中止や変更する場合があります。

# 「Kagoshima で暮らして」

鹿児島県の在住外国人の数は、年々増加傾向にあります。国際交流ひろばでは、鹿児島で頑張る在住外国人の鹿児島での暮らし等についてご紹介します。

今回は、マレーシアのマラッカ出身で、日置市在住4年目の日置市国際交流員ヌルルフダ ビンティ シャファイイさん（愛称 フダさん）にお話をうかがいました。

ステキな民族衣装ですね。



一講座の受講生から大島紬の反物を持ち、マレーシアの民族衣装に仕立ててもらったんです。軽くて、着やすいです。マレーシアと鹿児島を交えたものとして、とても気に入っています。

日置市国際交流員  
ヌルルフダ ビンティ シャファイイさん  
(愛称 フダさん)

花柄のヒジャブ(※)と大島紬を使った民族衣装を着たフダさん  
※イスラム教徒の女性が、髪や肌を覆う布地のこと

ご出身はどちらですか？

一マレーシアのマラッカ州です。フランシスコ・ザビエルと、後に彼を日本に向かわせることになる鹿児島人のヤジロウが出会った場所です。

マラッカは、京都のような歴史的な建造物が多い観光地で、中でもオランダ広場は有名です。キリスト教会等、建物が全てピンク色に染められていて、とてもきれいです。

日本語を学び始めた理由を教えてください。

一実は、鹿児島の人との出会いがきっかけで日本との縁ができたんです。

小学生の時、私の学校に鹿児島県の青少年訪問団がやってきました。その時に、彼らのうちの1人から「ドラえもん」などのマンガをもらったんです。私にとって、初めての外国人との出会いで、とても興奮したのを覚えています。そして、もらったマンガを読むためにも日本語を勉強したいと思いました。その後、中学、高校、大学で日本語を勉強し、日本への留学も経験しました。だから、小学生の時に出会った鹿児島の少年が、私にとっての“ヤジロウ”だったんです。さらに、大学時代の日本語の先生は、なんと旧吹上町の初代国際交流員で、鹿児島県との縁をとても深く感じています。

国際交流員としての仕事について教えてください。

一日置市内の小・中学校でのマレーシア紹介の授業や、幼稚園、地域でも活動しています。昨年度は、コロナ禍でも100件近く派遣依頼をいただき、公民館講座やイベントなども含めて、多くの市民のみなさんとふれあうことができました。また、



学校でのマレーシア紹介の様子

「マレーシア親善大使派遣事業」のための業務もしております。昨年は、初めての試みとして、日置市の友好都市であるマレーシア・スパンジャヤ市職員と日置市の文化講座受講生とのオンライン交流会を行い、鹿児島弁を教えたり、マレーシアの演奏を聴きました。

国際交流員としての仕事ではないですが、昨年は、鹿児島市観光アンバサダーに選ばれ、鹿児島のハラル食が食べられる飲食店などを母国語で紹介しました。

ハラルについて少し教えてください。

一「ハラル(=“許されている”の意)」とは、イスラム教のルールに沿って食べることが許されている食品や料理のことです。野菜や魚介類などは全てOKですが、豚肉やお酒を使った料理は食べられません。その他の食品でも加工や調理に関して、一定の作法が要求されます。ハラル食はムスリムの人だけでなく、もちろんだれでも食べることができます。

文化講座でも取り上げている内容なので、地元の方もご存知な方が多く、みなさん、野菜や魚等、私が食べられるものを差し入れてくれます。おかげで、日置市に来てから10キロ太りました(笑)

鹿児島で働き始めて、困ったことはありましたか？

一たくさんありました。

職場での「ホウ・レン・ソウ」の習慣や鹿児島弁は、最初は全くなじめませんでした。でも、今では、上司が話す「じゃっど」や「じゃらいなあ」などの鹿児島弁を真似するのが好きです。

ハラルの食品を手に入れるのも難しいですね。週に1回、鹿児島市内の専門店に通ったり、インターネットで注文しています。

また、ヒジャブを身に着けているので、変な目で見られることもあり、最初は戸惑いました。みなさん、動物園でも、動物を見ないで私のことをじっと見るんです(笑)でも、そんな時は、笑顔で挨拶をします。笑顔で接するようにしたら、相手も笑顔で返してくれることに気が付きました。こちらが、笑顔になったら、安心してくれるのかもしれないね。

マレーシアでは、大きな災害はあまり発生しないので、日本に来て、初めて台風や地震を経験しました。特に、強い地震に遭った時には、びっくりして泣いてしまいました。鹿児島に来てから、大事なものをに入れておく“緊急持ち出しかばん”を準備するようになりました。桜島の避難訓練にもボランティアとして参加したのですが、とても勉強になりました。避難所ではハラルのカレーも提供されていて、美味しかったです。

鹿児島で好きな場所がありますか？

一桜島が好きです。何度見ても飽きません。見るたびに癒されます。また、奄美の風景もマレーシアを想わせてくれ、気に入っています。



フダさんと桜島

最後に、外国の方が住みやすい鹿児島になるために、県民のみなさんにできることがあれば教えてください。

一「あいさつ」はどうでしょうか。

鹿児島で暮らしている外国人は、母国から離れているので、心細い人が多いと思います。なので、気軽にあいさつをするなど、声をかけてもらえたら、とても安心するんです。

# 「かごしまから見える世界」 vol.2

かつてから外国との交流が盛んだった鹿児島。鹿児島に居ながらにして世界を感じられる場所をご紹介します。今回は、鹿屋市にある「鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター」通称「カピックセンター」をご紹介します。

鹿屋市の大隅湖へ向かう山あいの道を車で走っていくと独特の形の建物が見えてきます。それが、カピックセンター（正式名称は、鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター）。豊かな自然に囲まれた施設に入ると、数多の世界各国の国旗が出迎えてくれます。ここは、研修や宿泊、食事等だれでも利用できる鹿児島の国際理解や交流の拠点施設です。

スタッフは、ほぼ全員が、青年海外協力隊経験者。高い専門性を活かして途上国で活躍した経験を持つ職員が講師を務める国際理解教育は、プログラム内容も豊富です。途上国の実情を学ぶことができるのもカピックだからこそ。



カピックセンター外観



世界味めぐりフェスタの様子(2019)

国際交流イベント「世界味めぐりフェスタ」(2020～2021 は中止)も毎年大好評で、県内在住外国人などが自ら料理をふるまい、本場の味を堪能できます。普段でも事前予約(5名以上)をすれば、施設内の食堂でブータンやスリランカなど色々な国の料理を味わうことも。その他、英語キャンプや青年海外協力隊 OV による昆虫採集など子ども向けイベントもとても充実しているので、老若男女楽しむことができます。

所長の兒島盛之さんは「知名度を上げることが課題。一度見に来てもらったら、きっと楽しんでもらえると思います。」と。外国になかなか行けない今だからこそ、カピックセンターで世界を体験してみたいかでしょうか。

住所:鹿児島県鹿屋市上高隈町 3811-1 TEL:0994-45-3288

その他, 詳細については, 直接お問合せください。



## JICA デスク鹿児島からのお知らせ!

### 『世界の笑顔のためにプロジェクト』

-途上国の人々のために、日本でできるボランティア  
ひとつの温かい気持ち 世界中でたくさんの笑顔へ!!  
まだまだきれいで使えるけど、もう自分では使わないなあ。  
そんな品物を、JICA 海外協力隊や在外事務所を通じ、  
世界のどこかのあの人のもとへ。  
身近な国際協力を始めてみませんか?



詳細はこちら

#### ■募集期間■

物品の募集は年2回実施しています。  
・2021 年度春募集 終了  
・2021 年度秋募集 10月中旬を予定

#### <募集物品例>

- ・日本文化(ひな人形・茶道具)
  - ・教材(そろばん・絵画セット)
  - ・楽器類(弦楽器・管楽器)
  - ・福祉関連(車いす・杖)
- など



JICA デスク鹿児島 担当:飯屋

TEL:099-221-6624 (公財)鹿児島県国際交流協会内



# 県内団体の国際交流事業紹介

【霧島市国際交流協会からのお知らせ】

## 「国際料理キッチン レシピ集」のご紹介

霧島市国際交流協会では、現在、これまでに霧島市国際交流員（韓国・アメリカ）が講師をした「国際料理キッチン」講座でのレシピをHPで紹介しています。コロナ禍で通常どおりのイベント開催が難しいところですが、より多くの方に外国の食文化を知っていただくきっかけになればと思います。ぜひご家庭でも作ってみてください！

また、通常ベースでは、青少年の海外派遣事業や外国人とのナンコ大会、地域イベントへの参加などを通して、外国人と交流し、相互理解や友好親善を深める活動を行っています。ご興味のある方は、お気軽にご連絡ください。



「ヤンニョムチキン」(韓国)

チキンを辛いソースにからめた韓国料理の一つです。韓国はデリバリー文化が盛んで、このチキンを食べながらスポーツ観戦をする、というのによく見られる光景の一つです。



「パイナップルアップサイドダウンケーキ」(アメリカ)

缶パイナップルを使用して簡単に作れる美味しいスポンジケーキです。出来上がると、パイナップルとサクランボが砂糖でコーティングされてキラキラになり、とてもインスタ映えます！

詳しいレシピは「国際料理レシピ集」(霧島市HP)をご覧ください。上記のレシピ以外にも、多数掲載しています。

<http://www.city-kirishima.jp/kikaku/shise/kokusaikoryu/kokusaikoryu/event-bosyuchu/sakusei/cirkitchen.html>



国際交流ひろばでは、県内各地で開催される国際交流に関するイベント情報を掲載しています。県内各市町村および国際交流協会主催・共催の国際交流に関するイベント情報等がございましたら、お寄せください。※ただし、掲載条件等がございますので、詳細についてはお問合せください。

## がいこくじんそうごうそうだんまどぐち 外国人総合相談窓口

鹿児島にお住まいの外国人の方のための相談窓口です。生活、在留資格、労働、医療、福祉などで困ったことがありましたら、お気軽にご相談ください。

対応言語：日本語/英語/中国語/韓国語/ベトナム語/タガログ語/インドネシア語/ネパール語/クメール語/タイ語/ミャンマー語/ポルトガル語/スペイン語/マレー語/フランス語/ロシア語/ドイツ語/イタリア語/モンゴル語/シンハラ語/ヒンディー語

鹿児島県国際交流協会内

TEL：070-7662-4541

E-mail：kiasoudan@gmail.com



Facebook



本誌・掲載内容に関する問合せ・申込み先

公益財団法人鹿児島県国際交流協会  
(火曜～日曜 9:00～17:00)

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

かごしま県民交流センター1階

Tel: 099-221-6620 Fax: 099-221-6643

URL: <https://www.kiaweb.or.jp/>

Email: [kia@kiaweb.or.jp](mailto:kia@kiaweb.or.jp)

Facebook: <https://www.facebook.com/Kagoshima.Intl.Assoc>

「国際交流ひろば」は、ホームページにも毎月掲載しています。ご自由にダウンロードしてください。